

予科練平和記念館

YOKAREN PEACE MEMORIAL MUSEUM

過去を知り、
未来を見つめよう



予科練生に思いをはせる

大空への憧れを持って入隊した予科練生。予科練平和記念館は、そんな予科練生の憧れの「空」を見上げるような内装の工夫がなされています。どこまでも白い建物と、青い空を見上げて当時の予科練生に思いを馳せれば、どこか背筋が伸びる思いがします。

阿見の人たちとの交流を知る

厳しい訓練の合間にあった、ほんの少しの娯楽と休養。阿見町の人たちは、そんな予科練生のかげがえのない時間を優しく見守っていました。「交流」のエリアでは、そんな阿見町の人々との交流や予科練生の思い出の場所が紹介されています。



こちらも行ってみよう 雄翔館

予科練平和記念館に隣接した陸上自衛隊土浦駐屯地武器学校内にある、雄翔館では、予科練戦没者の遺書・遺品約170点を収蔵、展示しています。こちらでも戦争の悲劇を知る、忘れてはならないスポットです。

〈問い合わせ先〉
土浦駐屯地広報援護班
TEL:029-887-1171 (内線 231)



Key word 予科練とは?

予科練とは、「海軍飛行予科練習生」及びその制度の略称です。昭和14年、当時東洋一と言われた規模を誇る霞ヶ浦飛行場があった阿見町に、若いうちから基礎訓練を行って熟練の搭乗員を多く育てることを目的として設置されました。15年間で約24万人が入隊し、2万4千人が戦地に赴き、戦死者はその8割の1万9千人にものぼりました。

予科練生の日常を知る

予科練平和記念館は、7つのテーマエリアで構成されています。まずは、予科練生を模したガラスケースが立ち並ぶ「入隊」と「訓練」のエリアへ。試験を突破して阿見町の予科練の門をくぐった少年たちは、朝早くから夜寝るまで、訓練に明け暮れていたそうです。彼らがどのような生活を送っていたのか、兵舎や教室を再現した展示室を見学します。



訓練：鉄棒

訓練：煙風洞実験

予科練生の心にせまる

「心情」「飛翔」のエリアでは、予科練生たちの手紙などを読むことができます。幼い少年たちが、戦争に巻き込まれ、当事者となっていく中で、家族や故郷に思いを馳せて取った筆。残された手紙の数々は読む人の心を打ちます。普通の少年が軍人にならざるを得なかった時代を考えると、平和への思いも新たになってきます。



「検閲済」ハンコが押されたはがき

特攻の悲劇を学ぶ

卒業した予科練生の多くは、特攻隊として戦地に旅立って行きました。「窮迫」「特攻」のエリアでは、そんな戦争の悲劇を学ぶことができます。昭和20年6月10日に起きた、阿見町の空襲も体感することができます。貴重なエリアです。



零式艦上戦闘機（通称零戦）
二一型の実物大模型の展示
を行っています。日曜日と祝日
のみ、格納庫の外で展示して
います。

〒300-0302 阿見町廻戸5番地1 TEL:029-891-3344
<http://www.yokaren-heiwa.jp/>
開館時間 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 / 毎週月曜日 (祝日の場合はその翌日) 12/29~1/3
入館料 / 一般 (大学生以上) 500円 (団体400円)
小中高生300円 (団体240円) MAP P.35-4A

『阿見観光ガイド』紹介



「阿見観光ガイド」は歴史・自然・文化等を学び、阿見町の魅力を発見、発掘し、その成果を観光コースづくりなどに生かしています。当会では事前のお申し込みで阿見町の豊かな自然から、マニアックな戦跡に至るまでとっておきの阿見町、知られざる阿見町を案内しています。

阿見観光ガイド

問合せ・申込先：あみ観光協会事務局 (阿見町役場商工観光課内)
TEL 029-888-1111 (内線 175) <http://plami.jp>

MAP P.35-3B